

# 梅原の子

Umehara Elementary School  
梅原小学校 学校だより  
令和6年11月25日号

## ゆう友ふれあいフェスタを通して感じた『愛』

校長 埴岡 靖司

大きな歓声と拍手で満たされた体育館は、地域のみなさん『愛』で満たされていました。ゆう友ふれあいフェスタでのあたたかい声援が、どの子ども笑顔になるきっかけをつくっていただきました。ありがとうございました。

昨今、大勢の前で、何かを伝えるという機会が減ってきています。しかし、梅原小学校の校区では、子どもが伝えたい！話したい！が満載となる体験の場が充実しています。梅原音頭、地域の歴史学習、畑作り、米作り、大豆作り、みそづくりなど、ここでは紹介しきれないほどの体験の場があります。学校としては、ひとり一人が実際に体験して感じたことを、もう一度自分なりに整理して表現することで、経験として高まっていく学びを進めたいと考えています。そこで、ゆう友フェスタでは、地域のみなさんと体験したことを、自分の学びとして表現する場としました。子どもは、見事に体験を経験として、みなさんに伝えていました。

「何がわかった？」「何が楽しかった？」「おもしろいこと見つけていたね。」と、体験を通して地域の方からの愛あるあたたかい言葉が、学年での伝えたいことを支えています。そして、伝える様子を、あたたかい眼差しで見守っていただけた保護者や地域の方々。学校は、みなさんの見守りの中で、育っていることを、あらためて感じることができました。すてきな時間を、ありがとうございました。



\*\*\*\*\*

### 自分の命は、自分で守るため

「自分の命は、自分で守ろうという意識を高めたい。」という願いのもと、3つの活動を行いました。

まずは、登下校で、自分の命を守るための教室です。山県警察署の方から、不審者に声を掛けられた時の対応の仕方を学びました。防犯ブザーの使い方についても、アドバイスをいただきました。

次に、普段の生活の中で命を守るための「生命の安全教室」です。岐阜県警察少年サポートセンターの方から、絵本『おしえて！くもくん』を教材に、性被害にあわないための「プライベートゾーン」の知識について学びました。

最後に、日々の防災意識を高めるための「ヘルメット登校」の取り組みです。明治24年10月28日は、「濃尾地震」が起こった日です。この日にちなみ、岐阜県では、毎年10月28日は「岐阜県地震防災の日」、毎月28日は「岐阜県防災点検の日」と定められました。そこで、毎月28日は、ヘルメットを着用して登校し、防災意識を高める日としました。

「自分の命は、自分で守る。」梅原校区のみなさんで見守っていただけると幸いです。



△生命の安全教室の様子